

プレートコンパス+天王山地形図1/5000(1cm=50m)+補充電源+登山アプリインストール

アナログ地図+プレートコンパスだけの方

1. 地形図の上にプレートコンパスを置き、西偏角度の真北に合わせて地図を整置する。
2. 出発地現在位置から目的地へまっすぐ「線」を引く「今回は事前に引いています」
3. コンパスの左側を線に平行して置いて、プレート矢印↑を目的地に向ける「頂上」
4. プレーートのリングを回して、プレートリングの矢印を赤い磁針に合わせる
5. プレート矢印↑と重なっているリング目盛りの角度が何度か確認しメモするか、覚える。
6. 事前に地形図に引いている予定コースを辿ってみる。
7. 出発地の高度と目的地の標高差を知る。コース時間を想定する。
8. 出発して20分後、登山で100m標高差の地点の休憩地点・分岐を決める。
9. さらに40分後、登山で300m標高差の地点の休憩地点・分岐を決める。
10. 1-5の作業を繰り返しをします、晴天時は「目標物」に合わせて整置してもよい。
11. 3.の作業は出発地から次の地点でも良いが、今回は頂上にあわせて下さい。
12. 地形図上の地図記号を調べてみてください。 →基本は別紙サイトを参照ください。
13. 地形図の1センチは1/50000=500m 1/25000=250m 1/10000=100m 1/5000=50m
14. プレートコンパスの仕様をよく覚えておきます。 →別紙参照に表示しています。

プレートコンパス+天王山地形図1/5000(1cm=50m)+補充電源+登山アプリインストール

スマホでGPSを試みたいが、インストールされていない方

1. 検索で「スーパー地形」アップルストア・グーグルプレイでスーパー地形をインストール
2. 3日間無料で3日後に設定ボタン→全般→機能制限解除の購入をクリックで継続、750円
3. アプリを立ち上げします。
4. ※別紙参照 使いやすいように事前のアプリ表示の調整をしておきます。
5. 検索ボタンで「天王山」をいれて京都府の天王山を選択します。
6. ツールをクリック→「地図の一括ダウンロード」で「天王山」をダウンロード。
7. しばらく下にダウンロード状況が表示されるので完了するのを確認します。
8. GPSボタンクリックして「GPS使用」をON→現在位置の追跡をON→
9. トラック(軌跡)の記録をON→ナビの開始をON→現在位置にジャンプをクリック
10. トラックログを事前に作成しておくとう便利ですが、作成については別紙で自習

アナログ 地図とプレートコンパス

1. 地形図の上にプレートコンパスを置き、西偏角度の真北に合わせて地図を整置する。
2. 出発地現在位置から目的地へまっすぐ「線」を引く「今回は事前に引いています」
3. コンパスの左側を線に平行して置いて、プレート矢印↑を目的地に向ける「頂上」
4. プレートのリングを回して、プレートリングの矢印を赤い磁針に合わせる
5. プレート矢印↑と重なっているリング目盛りの角度が何度か確認しメモするか、覚える。
6. 事前に地形図に引いている予定コースを辿ってみる。
7. 出発地の高度と目的地の標高差を知る。
8. 出発して20分後、登山で100m標高差の地点の休憩地点・分岐を決める。
9. さらに40分後、登山で300m標高差の地点の休憩地点・分岐を決める。
10. 1-5の作業を繰り返しをします、晴天時は「目標物」に合わせて整置してもよい。
11. 3.の作業は出発地から次の地点でも良いが、今回は頂上にあわせて下さい。
12. 地形図上の地図記号を調べてみてください。 →基本は別紙サイトを参照ください。
13. 地形図の1センチは1/50000=500m 1/25000=250m 1/10000=100m 1/5000=50m
14. プレートコンパスの仕様をよく覚えておきます。 →別紙参照に表示しています。

※下山後はどのアプリも共通ですが手順は違ってもOFF作業をしないと自動で追跡してしまい
地図のダウンロードも自動にされてしまい、データ量と電源消費をしてしまいます。

10. GPSボタンクリックして「GPS使用」をOFF→現在位置の追跡をOFF→
11. トラック(軌跡)の記録をOFF→ナビの開始をOFF

プレートコンパス+天王山地形図1/5000(1cm=50m)+補充電源+登山アプリインストール

登山地図アプリはインストールしている方/ほかのアプリでもOK

3. アプリを立ち上げします。
4. ※別紙参照 使いやすいように事前のアプリ表示の調整をしておきます。
5. 検索ボタンで「天王山」をいれて京都府の天王山を選択します。
8. GPSボタンクリックして「GPS使用」をON→現在位置の追跡をON→
9. トラック(軌跡)の記録をON→ナビの開始をON→現在位置にジャンプをクリック
10. トラックログを事前に作成しておくとは便利ですが、作成については別紙で自習

アナログ 地図とプレートコンパス

1. 地形図の上にプレートコンパスを置き、西偏角度の真北に合わせて地図を整置する。
2. 出発地現在位置から目的地へまっすぐ「線」を引く「今回は事前に引いています」
3. コンパスの左側を線に平行して置いて、プレート矢印↑を目的地に向ける「頂上」
4. プレートのリングを回して、プレートリングの矢印を赤い磁針に合わせる
5. プレート矢印↑と重なっているリング目盛りの角度が何度か確認しメモするか、覚える。
6. 事前に地形図に引いている予定コースを辿ってみる。
7. 出発地の高度と目的地の標高差を知る。
8. 出発して20分後、登山で100m標高差の地点の休憩地点・分岐を決める。
9. さらに40分後、登山で300m標高差の地点の休憩地点・分岐を決める。
10. 1-5の作業を繰り返しをします、晴天時は「目標物」に合わせて整置してもよい。
11. 3.の作業は出発地から次の地点でも良いが、今回は頂上にあわせて下さい。
12. 地形図上の地図記号を調べてみてください。 →基本は別紙サイトを参照ください。
13. 地形図の1センチは1/50000=500m 1/25000=250m 1/10000=100m 1/5000=50m
14. プレートコンパスの仕様をよく覚えておきます。 →別紙参照に表示しています。

※下山後はどのアプリも共通ですが手順は違ってもOFF作業をしないと自動で追跡してしまい
地図のダウンロードも自動にされてしまい、データ量と電源消費をしてしまいます。

10. GPSボタンクリックして「GPS使用」をOFF→現在位置の追跡をOFF→
11. トラック(軌跡)の記録をOFF→ナビの開始をOFF

プレートコンパス+天王山地形図1/5000(1cm=50m)+補充電源+登山アプリインストール

天王山コースのトラックログを作成している方

1. GPSボタン→トラック軌跡の一覧→登録した天王山を選択する。
8. GPSボタンクリックして「GPS使用」をON→現在位置の追跡をON→
9. トラック(軌跡)の記録をON→ナビの開始をON→現在位置にジャンプをクリック
4. ※別紙参照 使いやすいように事前のアプリ表示の調整をしておきます。

アナログ 地図とプレートコンパス

1. 地形図の上にプレートコンパスを置き、西偏角度の真北に合わせて地図を整置する。
2. 出発地現在位置から目的地へまっすぐ「線」を引く「今回は事前に引いています」
3. コンパスの左側を線に平行して置いて、プレート矢印↑を目的地に向ける「頂上」
4. プレーートのリングを回して、プレートリングの矢印を赤い磁針に合わせる
5. プレート矢印↑と重なっているリング目盛りの角度が何度か確認しメモするか、覚える。
6. 事前に地形図に引いている予定コースを辿ってみる。
7. 出発地の高度と目的地の標高差を知る。
8. 出発して20分後、登山で100m標高差の地点の休憩地点・分岐を決める。
9. さらに40分後、登山で300m標高差の地点の休憩地点・分岐を決める。
10. 1-5の作業を繰り返しをします、晴天時は「目標物」に合わせて整置してもよい。
11. 3.の作業は出発地から次の地点でも良いが、今回は頂上にあわせて下さい。
12. 地形図上の地図記号を調べてみてください。
13. 地形図の1センチは1/50000=500m 1/25000=250m 1/10000=100m 1/5000=50m
14. プレートコンパスの仕様をよく覚えておきます。→別紙参照に表示しています。

※下山後はどのアプリも共通ですが手順は違ってもOFF作業をしないと自動で追跡してしまい
地図のダウンロードも自動にされてしまい、データ量と電源消費をしてしまいます。

10. GPSボタンクリックして「GPS使用」をOFF→現在位置の追跡をOFF→
11. トラック(軌跡)の記録をOFF→ナビの開始をOFF